

セネガル「ブラインドサッカーを通じたダイバーシティ教育」 2018年5月



小学校での人材育成プログラム(スポ育)の実施

背景/課題

JICAのスポーツ分野の取組みは、東京2020オリ・パラ大会に向けた日本政府公約のスポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)の達成目標(東京2020大会までに100カ国1,000万人以上にスポーツを通じた国際貢献を行う)への貢献が期待されている。青年海外協力隊事務局では、日本のスポーツ競技有識者の海外派遣や海外のスポーツキーパーソンの招へいに取り組んでいる。

目的

- ▶ 有識者や選手をセネガルに派遣し、ダイバーシティ教育の普及と情報収集を図る。

活動内容

- ▶ 日本ブラインドサッカー協会有識者とブラインドサッカー女子日本代表選手をセネガルに派遣し、ブラインドサッカーを活用した人材育成プログラム(スポ育)の実施し、セネガルにおけるダイバーシティ教育の普及を図る。
- ▶ 同国の障害者スポーツやブラインドサッカーに関する情報を収集する。

成果

- ▶ JICA海外協力隊配属先の小学校3校でブラインドサッカーを活用したスポ育としてダイバーシティ教育が実施された。
- ▶ 国民教育省の「全国学校週間」に合わせたJICAセネガル事務所主催イベントで、ブラインドサッカー体験ブース、交流戦、ブラインドサッカー関連の5つのアクティビティブースでダイバーシティ教育が実施された。
- ▶ ブラインドサッカー選手、指導者、国立盲学校関係者への聞き取り、協議、講習を通して、セネガルにおける障害者スポーツ、ブラインドサッカーの現状、課題、今後の展開等の情報が収集された。